

高知の魅力を広く伝える菓子のブランディング【INPIT 高知県知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社スイーツ

所在地	高知県香美市		
ホームページ URL	https://sweets-corporation.com/index.html		
設立年	2006 年	業 種	製造業
従業員数	72 人	資本金	2,000 万円

企業紹介

当社は、「地域と共に」をコンセプトに、高知県の豊かな自然が育んだ素材を生かした菓子づくりを行っています。生産者の想いが詰まった素材の価値を商品として形にし、その魅力を広く伝えることを大切にしています。加工業は素材と生産者があってこそ成り立つという考えのもと、当社は適正な取引と信頼関係を大切にした商品開発に取り組んでいます。素材を守り育て、その価値を地域に還元することで、地域と共に成長してきました。近年は新工場を高知県内に整備するなど、地域に根差した事業展開を進めています。

相談のきっかけ

同社は、お菓子の製造方法に関する独自の技術やノウハウを有しているものの、それらをどのように知的財産として整理し、事業上の強みとして守っていくべきかが課題となっていました。特に、特許として権利化できる技術と、秘匿すべき技術の切り分けについて判断に迷っていました。こうした課題を整理するため、創業者である福永稔氏が INPIT 高知県知財総合支援窓口にご相談されたことがきっかけです。

支援概要

当窓口では、専門家を活用して権利化の可能性を整理するとともに、製法の保護に加えて商品ブランドの重要性について説明しました。

同社は、商品ブランドの重要性を踏まえ、ブランド保護に向けた取組を進めてきました。「世界を変えるカカオ（商標登録第登録 6894144 号）」として展開するチョコレート商品群については、統一ブランドによる販売を見据え、商標を活用したブランド戦略について支援しました。商標分野の専門家である城田 晴栄 弁理士と連携し、指定商品や今後のシリーズ展開を踏まえた商標出願について助言を行いました。

また、「酒粕バイクドチーズケーキ」については、商品のパッケージ（意匠出願中）を含めた知的財産の保護の観点から、商標に加えて意匠制度を組み合わせた知財ミックス戦略の有効性について説明しました。意匠分野については松井 宏記 弁理士と連携し、出願に向けた助言を行いました。

当窓口では、個別商品の単なる知的財産の権利取得にとどまることなく、事業全体としてブランドと知的財産をどのように活用していくべきかという視点で支援を行いました。



支援成果

「酒粕バイクドチーズケーキ」は、2025年12月末より販売を開始し販売当初から連日完売の状況であり、現在は予約販売へと移行し順調にスタートを切ることができました。当窓口での支援を通じて、商品販売前の段階から、商標に加えてパッケージを含めた知的財産の保護について整理が行われました。その結果、新商品の販売に際して知的財産面での不安を軽減し、事業展開を円滑に進めるための基盤づくりにつながりました。

「世界を変えるカカオ」は、生チョコ、濃厚カカオプッシュに加え、2025年7月からの The Cacao Roll を販売しており商品群、販路ともに拡大が進んでいます。当窓口では、統一ブランドによる展開を見据え、商標を活用したブランド構築の考え方について整理を行いました。これにより、商品展開と並行して知的財産を意識した事業運営が可能となり、ブランド価値を維持しながら販路拡大を進める体制の構築につながりました。

企業コメント

新商品の商標登録や意匠登録時に、専門の弁理士様のご意見も得ながらご指導いただけます。特に命名時には、J-PlatPat を活用し、他社製品と被らないか、商標登録は可能か等、後からトラブルにならないようご支援いただきました。ブランディングにより産業化を進めていく上で、商標や意匠は重要なファクターとなりますので、同窓口では熱心に対応していただけるので、大変心強い存在で、今後ともご指導賜りたいと感謝しています。

支援担当者コメント（氏名：畠山佳子）



同社は商品開発力が高く、知的財産についても一定の理解を有していました。今回の支援では、個別商品の権利取得にとどまらず、事業全体としてブランドと知的財産をどのように活用していくかという視点で整理を行った点が重要であったと考えています。その結果、新商品の展開に当たり、商品展開と並行して知的財産を検討する体制を構築することができ、今後の事業展開においても有効な取組につながったと感じています。

今後も、本支援を通じて整理した考え方を生かし、新たな商品展開につながることを期待しています。